名刀

楠勝平

プロ・ぺんだこ

難儀した時はおたがいさま

いやーそりゃ大騒ぎしましたよ

もうあっと言う間に拡がっちまって

わしの家まで火の粉が飛んで来ましてな

ガキの火遊びは気をつけないと

ウーン
よしよし

どうも
いえいえ

どちら！西らしいなァ

ホー江戸で商いを

わしは京に居る息子に会いに
それはお楽しみだすなァ

む
なつかしいにおいでんなァ

どうもすみません

まったくこの子ったら……もう

お武家さんはどちらからで
拙者か!!
アッヘエー
江戸にくだるところじゃ
これをとどけにじゃ
名刀何とか丸って奴でんな

国屈指の逸品
界鵬忠時！
えらくむずかしい名ですな
古来武士の魂を打ち
倭鍛冶の神と羨望された
天目一箇神……より今に
到りし名刀
数類尊名いたせども
ポーン！
この忠時
一歩もおくれをとる
ものではない！
わいが聞いた話なんだすけど
刃を上に向けてそこに紙を落とすだけで
真っ二つになるとか……
ホンマデッカ
そんな馬鹿な
フッハハハハ
そりゃ誇張もいいところだァな
……

まことじゃ！

カ
お———っ
ス———

ス

二尺九寸三分

切先やや細目に延び……
チャポン…!

刃文……
しずかに舞うがごとし

又、にくは……
チャポン!

一見薄きに映し

チャポーン
チャポン
チャポン
チャポン
チャポン

その肌！

無風湖の面と言う

ハハハハハ
俺の持ってる方がよく斬れらあ！
銀！

ビッ

くすくす
くすくす

銀次！
早くわびるんだ！早く
あやまるんだ!!
ビビ

何も知らねえ
小便たらし
なもんで……
どうぞごかん
べんを
ヘエ
銀！
小僧！
眼の保養
させて貰
おうか
……
見せい！
聞き流して
下され
ならぬ
ならぬ！

グワー

あっ！

小刀…？……
鉋は……
家……
ハァハァ
や、やしきを……

ギク

コン!

ピッ!

ジ
ピチャ

ポタ
ポタ
ポタ
ポタ
ポタ
ポタ。